

2年制 建築設備設計科

職業実践専門課程 認定設置科

2025年度 求人実績 (2026年3月1日現在) **957人** 求人数 **514社** 求人社数

卒業後の仕事 空調設備・給排水衛生設備の設計・施工 など

- 学内進学制度 二級建築士専科への再入学が可能【詳細はP25・P41へ】
- 1級管工事施工管理技士 ○一次検定 19歳以上で受験可能 ○二次検定 一次検定合格後5年以上の実務経験で受験可能
- 空調調和・衛生工学会設備士 卒業後、実務経験1年で受験資格取得
- 設備設計一級建築士 一級建築士取得後、設備設計実務5年以上受験資格取得

2年間で建築のわかる設備技術者をめざす！建物のライフライン「空調・給排水」の分野をマスター。

- 学科のPoint 1
- 学科のPoint 2
- 学科のPoint 3

1 建築と設備をトータルに学習

2 実務に精通した設備の専門スキルを習得

3 資格取得、就職に強い実践的な指導

※1級管工事施工管理技術検定試験（一次検定） 本科合格率 **70.0%** (2025年度) 【全国平均 **38.7%**】

水道関係の会社に就職できるよう必要な資格を取得し専門的な知識や技術を習得するために中央工学校に入学しました。

授業では多くの図面を写図し、描くスピードや図面を見る力がつきました。特に「衛生設備」の授業では、さまざまな図面の見方、数値の求め方を学べ、知識が身についたと実感しています。将来は、2級管工事施工管理技士を資格取得し、即戦力になれる技術者として活躍したいです。

生田目 夢 2025年入学 埼玉県立八潮南高等学校 出身 現：埼玉県立八潮フロンティア高等学校



建築関連学科の実際の授業内容が見れる！

使用予定ソフト ● Microsoft Office Online ● Jw_cad ● FINDER Cube

1年前期 時間割例 (1時限：50分) ※12:00～13:10は昼休み

時限	I	II	III	IV	V	VI	VII
曜日	9:10	9:30	9:50	10:10	10:30	10:50	11:10
月	ビジネス マナー	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図
火	建築設計製図	建築設計製図	建築設計製図	建築設計製図	建築設計製図	建築設計製図	建築設計製図
水	建築法規	建築計画	建築計画	数学	数学	数学	数学
木	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図
金	建築一般構造	構造力学	構造力学	環境工学	環境工学	環境工学	環境工学

2年前期 時間割例 (1時限：50分) ※12:00～13:10は昼休み

時限	I	II	III	IV	V	VI	VII
曜日	9:10	9:30	9:50	10:10	10:30	10:50	11:10
月	建築設計製図	建築設計製図	建築設計製図	建築設計製図	建築設計製図	建築設計製図	建築設計製図
火	空調調和設備	建築材料	建築施工	衛生設備	衛生設備	衛生設備	衛生設備
水	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図
木	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図	設備設計製図
金	建築環境測定	建築意匠	建築意匠	建築意匠	建築意匠	建築意匠	建築意匠

必修選択の別	教科区分	教科目	履修時間小計	単位
必修	一般科目	数学	30	2
		ビジネスマナー	15	1
		合宿研修	(72)	2
		建築計画	30	2
		建築意匠	90	6
	専門科目	環境工学	30	2
		建築法規	30	2
		構造力学	60	4
		建築一般構造	45	3
		建築材料	30	2
		建築施工	30	2
		建築積算	15	1
		衛生設備	60	4
		空調調和設備	60	4
		設備材料積算	15	1
設備施工管理	15	1		
実習科目	建築環境測定	135	9	
	建築設計製図	270	9	
	設備設計製図	480	15	
	設備施工図	90	2	
必修選択	卒業設計(空調)	(270)	(9)	
	卒業設計(衛生)	(270)	(9)	
任意選択	国内建築研修	(36)		
	海外建築研修	(72)		
学期授業時数 合計			1800	83
週数(年間30週) 合計			60	

〈 〉は必修選択 ()は任意選択 ※ ()は授業時間数・単位数に含めない ()内は前後期を定めないので、学期授業時数に含めない授業時間

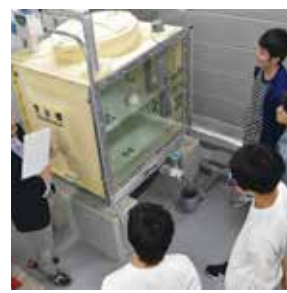
1年次 建築設備実習室で「見て・触れて・体験して」基礎を身につける

■ 建築設備は建物のライフライン、機能を担う分野

初めに建築物の構造や施工方法など建築の仕組みを学びます。1年次は建築の基本から学習し、建築設備との関係を学ぶことができるカリキュラムになっています。特に建築設備実習室では建築・設備の図面と実物を見比べながら、構造体や設備システム、図面表現などを身につけることができます。



建築設計製図(木造住宅設備演習)



設備設計製図(給排水衛生設備)

注目の授業！ 建築意匠：建築の要素を調査・研究して設計手法を学ぶ

1年後期から2年前期に履修する建築意匠では、建築物の要素に関する知識を学びます。日常的に使用する階段やトイレなどを実測し、調査・研究を行い、演習課題を通して計画・設計の方法を身につけます。理論・理想だけではなく、本物から得られる体験を設計に活かし、表現方法を学ぶことができます。



建築意匠(階段の実測)



建築意匠(トイレ設計)

2年次 現場さながらの施工体験で専門スキルをレベルアップ

■ スペシャリストになるための予行練習

2年次は1年次に学習した基礎知識をもとに、より実践的に専門知識を養います。特に現場で使用される機器や道具を実際に用いた実験・実習では、社会に出てから戸惑うことのない大きな自信を身につけることができます。また、2年間の集大成である卒業設計は建築設計から設備設計まで総合的に設計します。



設備設計製図



放水体験(2号消火栓)

注目の授業！ 建築環境測定・設備施工図：見えない世界を見えるようにする技術

人間が感じる快適性を左右する環境は、空気や熱、音など目に見えない要素で成り立っています。建築環境測定では、そうした環境のさまざまな要素を機器を使って計測し、数値化して、分析し、快適性への根拠を明確にすることを学びます。

図面で描くことができたとしても、実際に現場で施工することができなければ意味がありません。設備施工図では作図だけではなく、配管加工実習などを通して、現場作業を体験することで、作業手順や施工性の良し悪しなどを学びます。



建築環境測定(風量測定)



設備施工図(配管加工実習)

実験
実際の設備機材を使った本格的な設備実習室で本物に触れながら学ぶ。

実習
■ 配管施工など現場での技術をリアルに体験。
■ 建築と設備の図面を読める、手描きとCADで表現できる技術を習得。

業界で活躍！
充実した実験・実習を通して **空気・水・環境のスペシャリストに！**



卒業設計



設備施工図(樹脂管施工実習)



設備設計製図



建築環境測定(騒音測定)